



榎原 チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.53
令和3年 3月18日
文責:校長 酒井 健

◇「卒業式予行」が行われました

昨日3月17日(水)の2・3校時に、「卒業式予行」が体育館で行われました。凛とした空気の中で、卒業生も、1年生から5年生までの在校生も、しっかりとした態度で臨むことができました。来週の23日(火)は、卒業式当日となります。登校日は、明日から考えると3日・・・本当に「あっ」という間の一年間でしたね。今年度一年間で、子どもたちは、心身ともに大きく成長しました。「卒業式予行」での子どもたちの立派な姿に、その成長を感じることができました。

胸を張って堂々と入場する卒業生、卒業証書を手にする目の輝き、マスクをしたまま、体育館に響く子どもたちの呼びかけ、そして式歌・・・本当にすばらしいです。すべての保護者の皆様にもご覧いただきたい、そのくらいの子どもの成長した姿でした。

卒業式当日は、コロナウイルス感染拡大防止を配慮した式となります。限られたご来賓、ソーシャルディスタンス、式の時間短縮等、例年の卒業式同様にはありませんが、16名の卒業生の門出を、全職員、在校生、6年生の保護者の皆様、ご来賓の皆様で、心から祝福できる、そのような心温まる式にしていきたいと思えます。



◇校庭の雪も完全に溶けましたね・・・春の空気が感じられます



つい先日まで、校庭の鉄棒が埋まってしまうほどの雪に覆われていた校庭ですが、ここ数日の暖かさで、校庭の雪がなくなりました。休み時間ともなると、子どもたちは元気に校庭に出て、楽しく遊んでいます。子どもたちの笑顔からも、春の訪れが感じられます。

校長のひとりごと

「出会いは偶然、別れは必然」という言葉があります。出会いとは、時の流れの中で確かに偶然的なものです。出会いがなければ、その人を知ることもなく、街ですれ違ってもあいさつもしないでしょう。そして、別れとは必然的であることも確かです。16名の卒業生がこの学び舎を巣立っていくことは当然のことです。卒業生に出会えたから、巣立ちという別れがあるのですね。だからこそ、「出会い」を大切にしたい・・・だからこそ、「出会い」に感謝したい・・・常々、そう感じています。